COMPASS 発達支援センター武蔵新城 DASH　　令和２年 10 月 10 日討議

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和３年３月 27 日公表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令基準以上の広さを確保し、利用する児童の人数に合わせて机の配置換え等を行っています。 また余暇スペースを活用して小集団活動や季節の製作活動などを行っています。	今後も人数とスペースの適正を図り、机の配置等の環境を整え、蜜を避け、適切な距離の確保に取り組んでまいります。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令の基準を満たし、全体が見えるよう、柔軟な見守りができる体制に努めています。 指導は個別であっても、全員で声を掛け合い、チームとして行動し対応しています。	今後も同様に適切な人員を配置して、より良い療育環境の提供に努めていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		事業所内はすべてフラットで、空間は児童にわかりやすいように配慮し活動しやすいよう努めています。 単独で移動が難しい児童には職員が付き添い導線の確保や安全の確保、快適への配慮に工夫しています。	生活空間は、児童の状況に合わせて、分かりやすくシンプルであるように努め、特性に応じた合理的な配慮も考慮しています。
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎月のリフレクション会議には全員で参加して、業務改善について話し合っています。	今後も定期的な会議にて課題と目標を設定し、情報共有と、業務改善に努めてまいります。
業務改善	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年アンケートを実施して保護者様のご意向を職員で共有し、業務改善について意見を出し、話し合う機会を設けています。	今後もアンケートを継続し、年１回の評価表だけでなく、日々の会話の中で保護者様のご意見に耳を傾け、業務改善に繋げてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価結果は COMPASS の公式 Web サイトで公開しています。	今後も毎年 Web 上で自己評価の公開を行なっていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現時点では第三者による外部評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		今年度はコロナ禍のため、外部研修への参加機会がありませんでした。 事業所内では本社配信の動画研修を導入した社内研修などを開催して、全職員が参加し、資質向上に努めています。	今後も事業所内の研修を継続して、コロナ収束後の外部研修の機会には積極的に参加し、研鑽を行ってまいります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		適切にアセスメントを行い、児童の状況と保護者様のご意向を伺って、支援計画を作成しています。	今後も定期的にアセスメントを行い児童や、保護者様のご意向等を踏まえた支援計画書の作成に取り組んでまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		会社で統一したアセスメントシートを使用しています。	今後もアセスメントツールの活用で、必要な事項の情報収集を正確に行い、状況の把握に努めてまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員一人ひとりが意見を言える環境作りに努め、全員参加のケース会議で周知・共有を行い、チームで立案しています。	今後も活動プログラムは全職員で話し合い、一人ひとりの得意分野を活かした立案・計画・検証してまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		記録をもとに児童の様子を見ながら会議で定めた活動から職員の裁量で選択し、季節や時期に合わせ固定化しない活動内容を工夫しています。	今後も活動が固定化しないよう工夫と配慮に努めていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日と長期休暇それぞれに応じたスケジュールを組み立てています。 平日は時間が限られた屋内での座学中心の療育ですが、長期休暇や休日には、きめ細やかな課題設定をしています。	今後も継続して平日、長期休暇それぞれに適し、児童のニーズを汲んだ課題を設定し、楽しんで活動に参加できるよう配慮してまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別の活動を主軸に置きながらも、集団への活動参加を促す支援計画を作成しています。 季節の行事等の集団活動を促すことで、ルールや他者との関わりを学ぶ機会を作るように心がけています。	今後も児童の成長に合わせて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせてまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日朝のミーティングを行い、内容はノートに記録を残し職員間で周知しています。	今後も支援内容や役割分担について情報共有のうえ、支援に取り組んでまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有している	○		当日にできない時は後日打ち合わせを行い、職員全員が気づきや意見を言い、共有する時間を大切にしています。 児発管にその都度報告し、目標設定に繋げています。	今後も毎日振り返りを行い、情報共有に努め、より良い支援を目指してまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		療育日誌を支援者が記入し、他の職員も目を通し、支援の継続に役立てています。	経過記録で児童の変化を共有し、支援に活用していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングによって児童の状況や、課題などを確認し、保護者様のご意向を踏まえて、児童発達支援計画の作成や見直しを行っています。	今後も定期的にモニタリングを行い、児童の現状把握と保護者様のご意向も伺いながら、計画の見直しを判断してまいります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		児童の発達状況や保護者様のご意向を踏まえ、ガイドラインの示す支援内容から選択した、具体的な長期、短期に別れた具体的でわかりやすい支援計画を作成しています。	今後もガイドラインに沿って概ね半年ごとにモニタリングを行い、見直しを行い、児童や保護者様のご意向を反映した具体的な支援内容、個別支援計画を作成してまいります。 ガイドラインにある項目の「地域支援」はまだ不充分だと思われるので、今後「家族支援」と共に、勘案してまいります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		支援の状況を確認している児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。 担当者会議の内容は、職員間で共有しております。	今後も定期的にモニタリングを行い必要時には期間に関係なく支援計画の更新を行い、保護者様にもご説明をしてまいります。
	21	学校との情報共有（年間計画･行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		保護者様からの同意を得て、保護者様に間に入っていただいて、必要に応じて学校との連携を図り、日程の調整や、話し合いの場を設けております。	現在学校への送迎は行っていませんが、連携に努め、児童の学校生活の様子や、事業所での様子を情報共有できるように心掛けていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		移行の際には保護者様の許可を得た上で保育所や幼稚園、こども園等と相互で連絡を取り合い、見学などを通して、児童の様子や支援方法等の情報共有や意見交換をしています。	今後も関係機関と連携して情報提供と相互理解を図って参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現時点では該当する児童は在籍していませんが、学校を卒業する場合は、保護者様の意向を確認して、各関係機関と密に連携をとり、情報の共有を図ってまいります。	今後、保護者様からご承諾があった場合にはご家庭や学校、就労事業所等に情報公開やアドバイス等を行ってまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		現在は、電話で助言をいただいたり情報交換を行っています。 必要な事例についても連携し、助言を受けています。	コロナが収束後には専門機関で行われる研修にも積極的に参加し、助言を受け、支援に関する情報は職員で共有して、密に連携を図っていけるように努めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	今年度は、コロナウィルスの流行により、本来予定していた活動も自粛せざるを得ませんでした。	コロナ収束後には、保護者様のご意向を伺いながら地域児童との交流の機会について検討してまいります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○		例年子ども部会等には積極的に参加しておりますが、今年はコロナ禍で参加機会がありませんでした。	コロナ収束後には、積極的に参加し、持ち帰り、事業所内研修で情報共有を行っていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の連絡帳や、面談・送迎の際の会話を大切にし、共通理解を深めて支援に繋げています。 連絡帳で保護者様からの相談を受けることもあり、その都度事業所からもご相談への対応や児童の様子等をお伝えしています。	今後は、小さな変化でも保護者様にお伝えするように努め、保護者様との情報共有に努めてまいります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	○		連絡帳で悩みや相談が書かれているときは面談をお勧めし、不安を取り除くように図るなど家族支援に努めています。	今後も保護者様のお役に立てるようにいつでもできる限り丁寧にご対応させていただきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に契約事項と共に分かり易くご説明を行い、質問にもお答えしています。 契約時のみならず、いつでも質問やご相談に対応しています。	今後も契約時のみならず分かりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳や電話、送迎時、面談を行い、子育てのお悩みやご質問・ご相談に適切な回答・助言を行うなどの支援に努めています。	今後も保護者様からのご相談には適宜対応し、お悩みの解決に努め、その内容を職員間で情報共有し、共通理解に努めてまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今年度は、コロナウィルスの流行により、本来予定していた活動も自粛せざるを得ませんでした。	現在は個別対応となっておりますがコロナ収束後には保護者様のご意向を図りながら、保護者様同士の連携や保護者様と職員との交流機会等を検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情窓口を定め、ご意見箱を設置し、迅速かつ適切な対応ができるように整備に努めております。 保護者様から苦情や申入れがあった場合には解決に向け迅速に対応し、全職員と情報共有を図るように体制を整備しています。	ご意見に対しては今後も迅速な対応に努め、問題解決を図ってまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		公式 Web サイトのブログや SNS で情報を発信し、季節ごとに「お便り」を発行しております。	今後も継続して情報発信を行ってまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の秘匿について、全職員が常に意識して業務にあたり、その使用や処分に細心の注意を払い、保管も鍵付きの書庫で保管しています。	個人情報の取り扱いは、今後も細心の注意を払ってまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者様とは、送迎の時間の会話や連絡帳での交流を大切にして、また児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用して、わかりやすく情報を伝えるよう配慮しています。	今後も正しく情報が伝わるよう心がけ意思の疎通に努めてまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今年度はまだコロナ禍の状況にあり地域の方を交えての交流機会は企画できておりません。	通所を秘密にしたいご意向の保護者様もおられることから、コロナ収束後は保護者様のご意向を伺いながら、地域との交流について検討してまいります。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルを策定し、事業所の目立つ場所に掲示して保護者様にも周知させていただき、定期的な訓練も実施しています。	今後も保護者様への周知や、定期的な訓練を継続してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的な避難訓練を毎年実施しております。	今後も定期的な避難訓練を継続して、保護者様にもご報告してまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		例年は外部の虐待防止にも積極的に参加して、事業所内で周知を行い、周知徹底しています。 本年度はコロナ禍のため研修機会はありませんでしたが、資料をもとに事業所内研修を開催し、認識一致に努めました。	コロナ収束後の研修機会には積極的に参加し、新しい情報で事業所で研修を行い、職員間での情報共有と認識一致のうえ、虐待防止に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束に関する基本方針は事業所内や利用契約書に記載しています。 生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合は、予め文書によって保護者様に同意をいただいたうえで支援計画にも記載してまいります。	今後も原則として身体拘束を行わない基本方針を守り、児童の安全を第一に考えた、必要な場合に鍵って行われ、その具体的なケースの説明に努めて、保護者様に書面にて同意を得たうえで支援計画にも記載してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		事前のアセスメント等でアレルギーを把握し、アレルギー対策として、教材には牛乳パック等を使用しないように配慮しています。 特にアレルギーの強い児童に関しては、保護者様を通して医師の指示を伺っています。	現在は食物の提供は行っておりませんが、今後も「もしも」の可能性を想定して対応を検討していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットは都度記録し、全職員が閲覧できるようファイリングしています。 ファイルに事例を綴るだけでなく、ミーティングも行い再発防止に努めています。	今後も、定期的にファイルに目を通し、再発防止と未然防止にも努めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。